

協会の飼料増産に係る取組み

1. 協会が取組む普及啓発事業	1
2. 新品種の紹介	2
3. 公的育成優良品種パンフレット	11
4. 令和8年播種用飼料用稲種子の供給について	15
5. 飼料作物・飼料用稲 現地実証展示ほの設置について	17
6. 第13回全国自給飼料生産コンクール公募のご案内	18
7. 放牧畜産普及拡大高度化推進	20
8. 放牧畜産基準認証制度のご紹介	22
9. 令和6年度事業主要成果品一覧	27

令和8年1月22日

一般社団法人 日本草地畜産種子協会

1. 令和7年度に(一社)日本草地畜産種子協会が取り組む普及啓発等事業

(1) 協会が都道府県、関係団体、各種協議会等と共催で開催する普及啓発等事業

No.	名 称	内 容	主な参加・受講対象者	協会が負担する主な経費	備 考	区分
1	飼料生産利用技術等に関する地域研修会	飼料作物・飼料用稲の優良品種の普及及び生産利用並びに放牧等に関する研修会等の開催	農家、地方公共団体職員、農協職員、公共牧場職員等	会場借料、講師派遣経費、バス等の借り上げ費等	農政局、都道府県、関係団体、各種協議会等と共催	A B

(2) 関係団体等が開催する研修会等へ協会が専門家を派遣する事業

No.	名 称	内 容	主な対象者	備 考	区分
2	放牧指導者による指導	放牧アドバイザー等専門家による放牧技術等に係る現地指導の実施	農家、普及センター、農協、市町村職員等	放牧アドバイザーの派遣については、本会ホームページに申請書を掲載	B
3	飼料稲指導者による指導	飼料稲アドバイザー等専門家によるWCS用稲生産利用技術等の現地指導の実施	農家、普及センター、農協、市町村職員等	飼料稲アドバイザーの派遣については、本会ホームページに申請書を掲載	A

(3) 協会が主催する研修会・検討会(開催については、詳細が決定次第ホームページ等でご案内します。)

No.	名 称	内 容	主な参加・受講対象者	備 考	区分
4	放牧技術研修会	放牧技術の指導者及び放牧への転換を志向する畜産農家を対象に、放牧に関する専門的な技術と知見を有する放牧指導者による研修会	農家、普及センター、農協、市町村職員等	12月9日に「放牧指導者等育成のための研修会」を開催いたしました	B
5	飼料生産利用技術等に関する全国シンポジウム等	飼料作物優良品種の普及、飼料用稲専用品種の普及、栽培利用技術向上、公共牧場の利用促進等を図るための全国シンポジウム等	行政・普及指導機関、試験研究機関、農協、農家、一般消費者等	7月2日に「稲WCS利用推進シンポジウム」を開催いたしました シンポジウムアーカイブ(※YouTube) https://www.youtube.com/playlist?list=PLs1NCH_Z7XIPxPaTDxt85Kzyp_RVfr0ux	A
6	草地改良技術等研修会	草地診断の推進及び草地改良技術の普及を図るための研修会	畜産農家、農協職員、地方公共団体職員等	11月6日に「草地改良技術等の普及に関する研修会」を開催いたしました	C

注：A(飼料生産性向上対策事業)、B(放牧畜産普及拡大高度化推進)、C(国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業)

〈問い合わせ先〉	〈 番号(No.の欄) 〉	〈 担当者 〉	〈 E-mail 〉
TEL 03-3251-6501	1, 6	坂本、井上	k-sakamoto135@souti-fsa.or.jp、r-inoue140@souti-fsa.or.jp
FAX 03-3251-6507	2	井上	t-inoue112@souti-fsa.or.jp
	3, 5	清野	t-seino134@souti-fsa.or.jp
	4	磯前、塚田	s-isomae137@souti-fsa.or.jp、y-tsukada138@souti-fsa.or.jp

2. 新品種の紹介

品種登録出願中・海外持出禁止（公示（農水省HP）参照） 2025年5月

越夏性に優れ広域適応性を有する

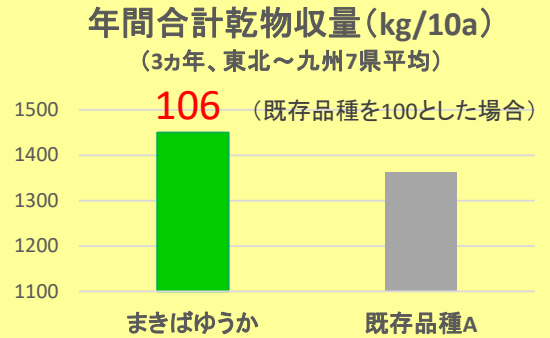
オーチャードグラス極早生品種

まきばゆうか

特に越夏後の収量性に優れることで年間収量で多収となります！



熊本における越夏後の草勢の品種間差異
左：まきばゆうか 右：既存品種A



●「まきばゆうか」は既存品種に比べ、東北から九州の7県で実施された調査で多収であることが確認されました。

● 温暖地、暖地における越夏後の収量および再生に優れます。
(特に暖地で良好な越夏性を示します。)

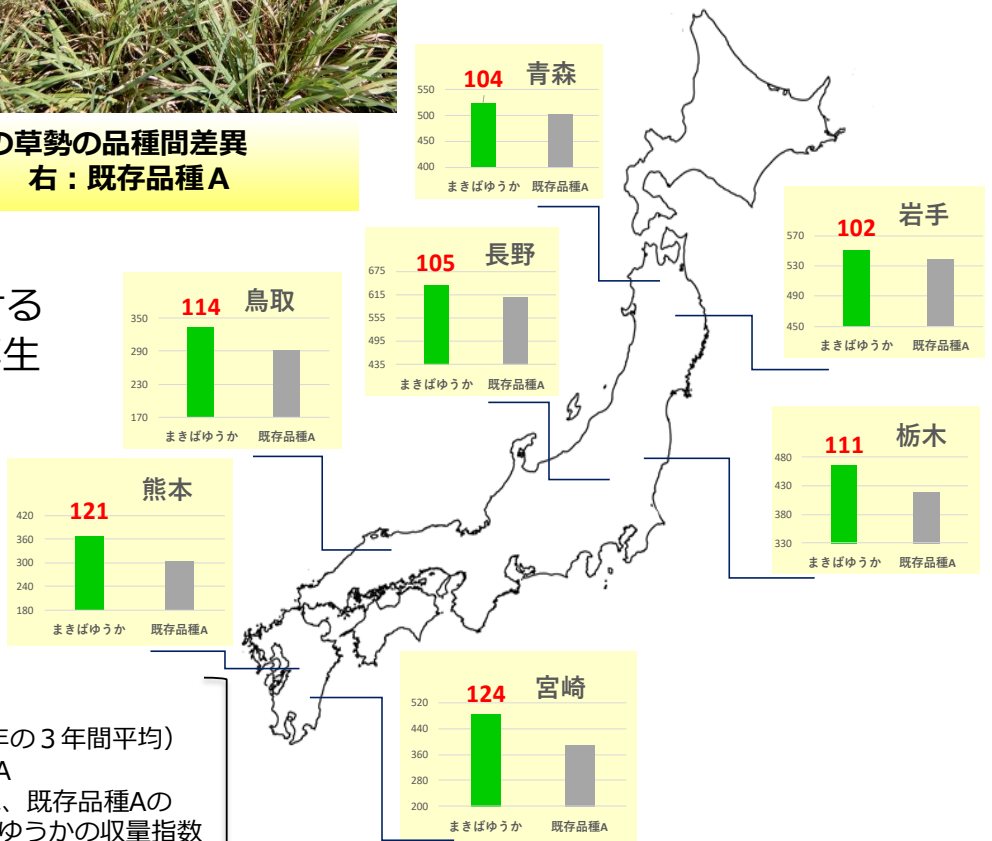
● 持続性に優れます。

越夏後乾物収量の差

(全国7地点：2017年～2019年の3年間平均)

■ まきばゆうか ■ 既存品種A

各表中の赤字で示した数値は、既存品種Aの収量を100としたときのまきばゆうかの収量指数



栽培適地：寒冷地の低標高地から暖地の中標高地が適地です。

用途：採草利用を主としますが、放牧利用も可能です。

種子の販売：2025年から開始します。

「まきばゆうか」についてもう少し知りたい方は、こちら →

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 03-3251-6501



「まきばゆうか」は病害抵抗性に優れています！

「まきばゆうか」と既存品種Aの耐病性の比較（1：無症状～9：甚だしい発症）



Copyright: NILGS (Japan)

雲形病



Copyright: T. Yoshimura (Japan)

うどんこ病

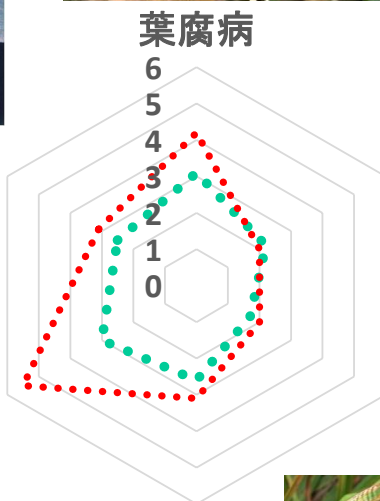


Copyright: A. Tajima (Japan)

すじ葉枯病



Copyright: NILGS (Japan)



.....まきばゆうか

.....既存品種A

小さび病

黄さび病



Copyright: 豊田 隆 (Japan)



Copyright: K. Sugawara (Japan)

病害写真出展：インターネット飼料作物病害図鑑 <https://www.naro.affrc.go.jp/org/nilgs/diseases/dtitle.html>



夏枯れによる減収を避けるには・・・

- 気温20℃以下の生長期では、刈取後は必ず施肥しましょう。
- 梅雨明け時の草丈は30 cm程度に抑えましょう。
- 梅雨明け後の30℃を超えるような高温時の刈取りは植生を衰退させるので厳禁です。
※ どうしても刈る際は高刈りにしましょう。
- 数日雨が降らない、と予報されている場合は、刈取りを延期しましょう。

【育成機関】 お問い合わせ先：
農研機構 畜産研究部門
MAIL:koho-nilgs@naro.affrc.go.jp



The National Association of Racing
地方競馬全国協会
畜産振興事業

耐病性・消化性に優れる

オーチャードグラス中生品種

きよは

収量性に優れます！

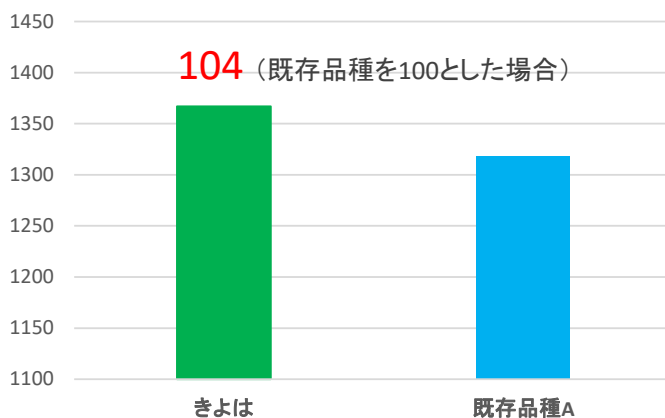


「きよは」の出穂前期の草勢

出穂後は嗜好性の低下が早いですが、早刈りの影響は小さいので、早めの収穫を心掛けて下さい。

年間合計乾物収量(kg/10a)

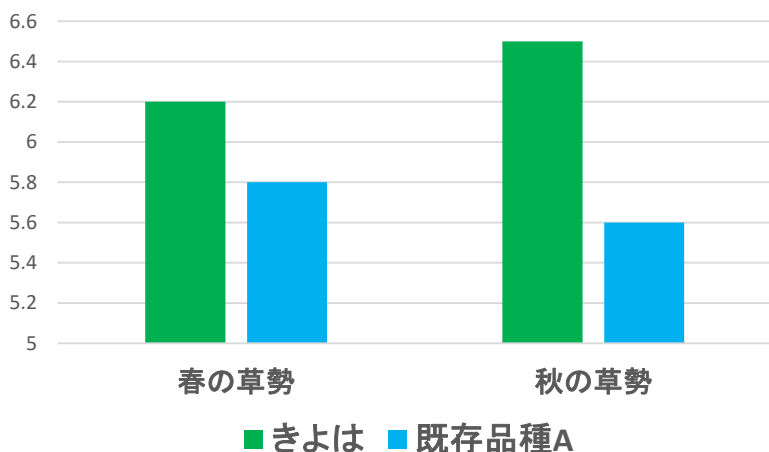
(3カ年、東北・関東6県平均)



- 「きよは」は既存品種に比べ、東北、関東の6県で実施された調査で高品質、多収であることが確認されました。

低温伸長性が改良されているため、春、秋の草勢が良好です！

春、秋の草勢(1:極不良~9:極良)



- 早春や晩秋の生長性が高まっていることで、草地の利用度も高まります。
- 再生力が高まっていることで、雑草との競合力も増し、持続性が向上しています。
- 低温伸長性ばかりでなく、夏季の高温耐性も強まっています。

栽培適地 : 寒冷地から温暖地の中標高地が適地です。

用途 : 採草および放牧の両方に利用可能です。

種子の販売 : **2025年**から開始します。

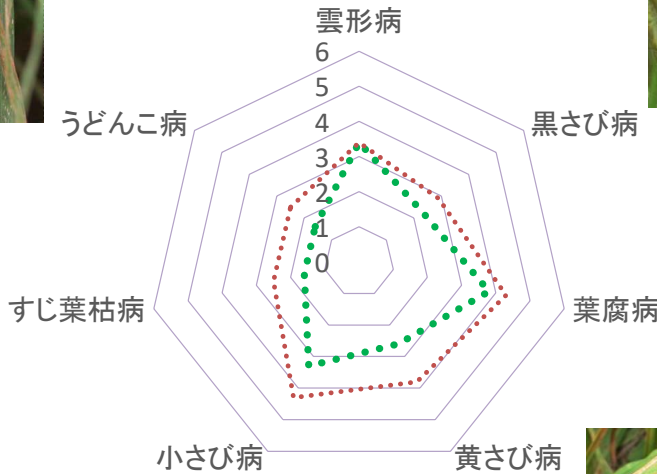
「きよは」についてもう少し知りたい方は、[コチラ](#) →

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 03-3251-6501



「きよは」は各種病害への抵抗性に優れています！

「きよは」と既存品種Aの耐病性の比較（1：無症状～9：甚だしい発症）



.....きよは

.....既存品種A



病害写真出展：インターネット飼料作物病害図鑑 <https://www.naro.affrc.go.jp/org/nilgs/diseases/dtitle.html>



夏枯れによる減収を避けるには・・・

- 気温20℃以下の生長期では、刈取後は必ず施肥しましょう。
- 梅雨明け時の草丈は30 cm程度に抑えましょう。
- 梅雨明け後の30℃を超えるような高温時の刈取りは植生を衰退させるので厳禁です。
※ どうしても刈る際は高刈りにしましょう。
- 数日雨が降らない、と予報されている場合は、刈取りを延期しましょう。

【育成機関】お問い合わせ先：
農研機構 畜産研究部門
MAIL:koho-nilgs@naro.affrc.go.jp



The National Association of Racing
地方競馬全国協会
畜産振興事業

雪腐病に強い、四倍体・早生のイタリアンライグラス

クワトロ-TK5



- ◆栽培適地は、根雪期間80日程度の東北地域です。
- ◆既存の耐雪性早生品種「ワセアオバ」よりも耐雪性に優れ、根雪期間80日程度までの積雪地において10%以上多収です。
- ◆1番草収穫後にトウモロコシが作付けできます。東北地域で冬に牧草、夏にトウモロコシを作る二毛作が可能です。

農研機構東北農業研究センター

育成のねらい

既存の耐雪性早生品種「ワセアオバ」は根雪期間が60日を超えると減収するため、東北地域では耐雪性が充分ではありません。また、イタリアンライグラスの中では極めて高い耐雪性を有する「ナガハヒカリ」は中生であるため、夏季の短い東北地域では夏作と組み合わせるのが難しいです。

そこで、耐雪性に優れ、夏作と組み合わせが可能となる早生の「クワトロ-TK5」を育成しました。

品種の活用面

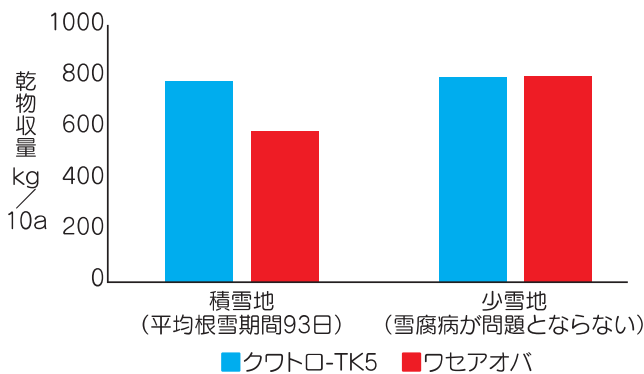
根雪期間が80日程度までの東北地域で栽培できる四倍体早生品種です。トモロコシなどの夏作を組み合わせた二毛作体系が可能です(1番草収穫後にトモロコシが作付けできます)。

雪腐病が問題となる根雪期間80日程度までの積雪地においては、「ワセアオバ」よりも10%以上多収です。

栽培上の留意点

- ・根雪期間が100日以上地域では低収となり、栽培には向きません。
- ・千粒重が大きいため、二倍体品種よりも多めに播種してください(3~4kg/10a)。
- ・施肥はイタリアンライグラス栽培で標準的な量を施用します(窒素、リン酸、カリウムそれぞれ基肥8~10kg/10a、早春の追肥5~8kg/10a)。

栽培特性



クワトロ-TK5の特性

形 状	クワトロ-TK5	ワセアオバ
倍数性	四倍体	二倍体
出穂開始日	5月5日	5月7日
耐雪性	3.4	2.4
出穂期乾物率(%)	18.3	19.4
採種量(kg/a)	15.4	14.9
千粒重(g)	5.02	2.92
倒伏程度	4.5	5.7

耐雪性 1:極不良-9:極良
倒伏程度 1:微-9:甚

標準作業手順書(SOP)はこちら →



《種子入手先に関するお問い合わせ先》

農研機構東北農業研究センター 企画部産学連携室産学連携チーム
電話.019-643-3443 FAX.019-643-3588

《利用許諾に関するお問い合わせ先》

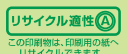
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(略称:農研機構) 連携広報部知的財産課種苗チーム
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 電話.029-838-7390 FAX.029-838-8905

品種に関するお問い合わせは 農研機構東北農業研究センター 企画部 産学連携室まで

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588
メール.www-tohoku@naro.affrc.go.jp http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/

東北農研

検索



牛が喜んで食べる高栄養牧草
ペレニアルライグラス

夏ごしペレ

越夏性に優れる！



写真1 栽培限界地域での「夏ごしペレ」の越夏後の様子（栃木県）

既存品種A：各県で奨励品種になっているベストセラー品種、既存品種B：既存の越夏性品種

より長期間の利用が可能となります

初期生育に優れる！



写真2 「夏ごしペレ」の初期生育（岩手県）
播種後2ヶ月後の様子

OG：オーチャードグラス、FL：フェストロリウム
PR：「夏ごしペレ」、TI：チモシー

追播利用にも適します

嗜好性に優れる！



写真3 終牧後の様子（岩手県）

オーチャードグラスの残草は多いが、「夏ごしペレ」は低くまで食べられ、残草がほとんどありません。

家畜の生産性が向上します

耐湿性に優れる！

湿害無 → 湿害有

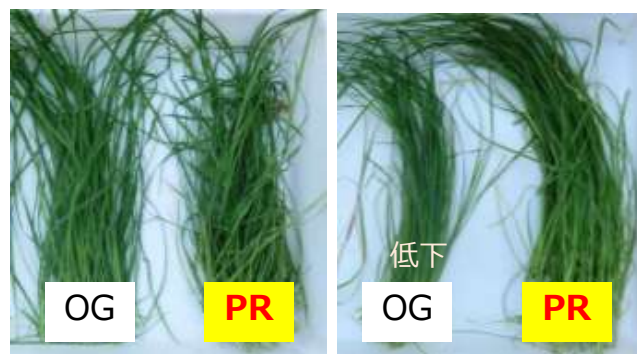


写真4 湿害処理（湛水処理）後の様子

湛水処理によりオーチャードグラス(OG)の生産性は大幅に低下しますが、「夏ごしペレ」(PR)はあまり低下しません。

水田での飼料生産にも適します

栽培適地：寒冷地（年平均気温9～12℃程度）が適地です。

用途：放牧利用を主としますが、採草利用も可能です。

早晩性：晩生品種です。

お勧めする利用方法

(特徴を生かした様々な利用場面が想定されます。以下は一例です)

栄養価・嗜好性の高いエサを作りたい方

【放牧利用】

栄養価と嗜好性に優れた草地を作るために、**嗜好性に優れた**「夏ごしペレ」による草地造成または追播を行ってください。蹄耕法による草地改善も可能です(写真5)。

【採草利用】

「夏ごしペレ」により高品質な飼料が生産できます。耐倒伏性が弱いため**「穂ばらみ期(穂が出る直前)」**に収穫してください。オーチャードグラスの早生品種の刈り取り適期と同じ時期となります。「夏ごしペレ」は乾きにくいので、**サイレーヅ調製**にしてください。嗜好性の高いサイレーヅになります。



写真5 「夏ごしペレ」を蹄耕法で追播した放牧地

家畜の嗜好性が高く、「夏ごしペレ」を選んで食べるとのこと

水田等で飼料生産を行いたい方

オーチャードグラスは湿害に弱いため、水田などでの飼料生産に適しません。湿害が発生する場合は、**湿害に強い**「夏ごしペレ」を使って草地造成または追播を行ってください(写真6)。



写真6 湿害の発生する圃場

湿害圃場では「夏ごしペレ」がオーチャードグラスよりも優占します

草地造成翌年の生産性を高めたい方

オーチャードグラスやチモシーは、利用1年目の1番草の収量が少なくなります。利用1年目の収量を増やすために、**初期生育に優れた**「夏ごしペレ」を混播種してください。その場合の播種量はオーチャードグラス播種量の1/5~1/10程度で十分です。



写真7 「夏ごしペレ」追播採草地

オーチャード経年草地に「夏ごしペレ」を不耕起播種機で追播した採草地

追播により草地年限を伸ばしたい方

温暖化により、永年草地の荒廃が早期化しています。裸地の発生により雑草が侵入しやすくなりますので、その場合は**初期生育に優れた**「夏ごしペレ」を追播してください。これにより、裸地を減らすことができます(写真7)。

「夏ごしペレ」についてもう少し知りたい方は、[コチラ](#) →



【育成機関】 お問い合わせ先 :

農研機構 東北農業研究センター 研究推進部研究推進室 (広報チーム)

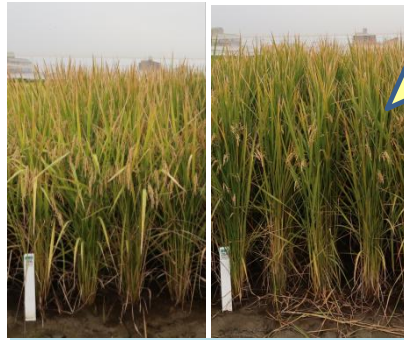
TEL : 019-643-3414 MAIL : www-tohoku@naro.affrc.go.jp

イネWCS用 極短穂茎葉型＋縞葉抵抗性シリーズ新品种！ 早生「つきはやか」、中生「つきあやか」

－ 早生化と耐病性の強化により栽培適地が拡大 －

特性のポイント

- 1. 出穂期**
「つきはやか」は「夢あおば」(従来品種)並の早生
「つきあやか」は「たちあやか」並かやや早い中生
(感光性が弱く移植時期の変動により出穂期が前後します。)
- 2. 籾割合が小さい**
「つきはやか」は20～25%程度。(「夢あおば」の半分)
「つきあやか」は5%程度。(「たちあやか」並)
- 3. 縞葉枯病に強い。**
「たちあやか」の欠点である縞葉枯耐病性を改良しました。

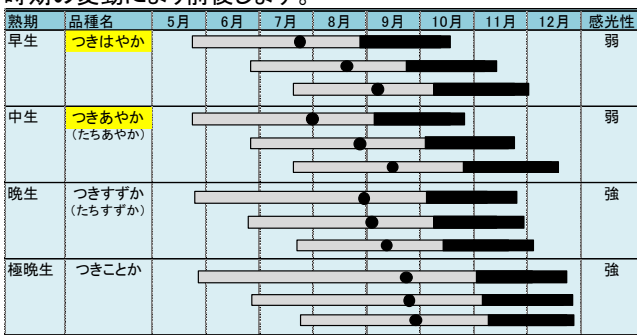


つきはやか つきあやか

・高糖分で良好な発酵が期待できます。
・籾割合が低く、消化性にすぐれる茎葉が多収です。

【育成者権情報】
2品種とも登録品種。
2品種とも海外持出禁止(農水省HP参照)

■ 出穂特性-育成地(広島県福山市)でのイメージ-
感光性が弱い「つきはやか」「つきあやか」の出穂期は、移植時期の変動により前後します。

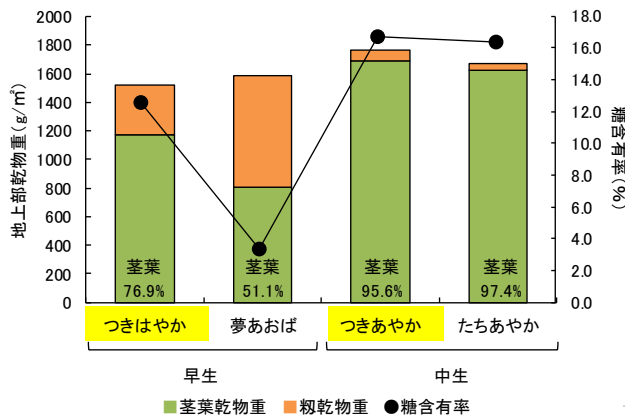


●出穂期、■収穫可能時期

■ 生育特性①-育成地(広島県福山市)-

系統名	出穂期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m ²)
つきはやか	8.04	101	19.7	225
夢あおば	8.06	88	23.2	300
つきあやか	8.14	113	12.8	336
たちあやか	8.16	113	14.0	326

※育成地(広島県福山市)、2016～2019年の平均値。6月上旬移植、窒素施肥量:15kg/10a



■ 生育特性②-東北地域(秋田県大仙市)-

系統名	出穂期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	穂重 割合 (%)
つきはやか	8.11	110	16	305	1735	13.1
夢あおば	8.03	83	22	322	1475	50.2
たちあやか	8.25	118	12	389	2000	0.6

※東北地域(秋田県大仙市)、2017～2018年の平均値。5月中旬移植、窒素施肥量:15kg/10a

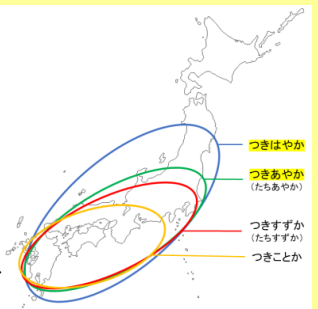
■ 病害虫抵抗性

品種名	耐倒 伏性	いもち (葉穂)	縞葉 枯病	白葉 枯病	穂 発芽	除草剤
つきはやか	極強	不明	抵抗性	やや弱	やや易	非感受性
つきあやか	極強	不明	抵抗性	中	中	非感受性

栽培適地

「つきはやか」では東北中部以南
「つきあやか」では東北南部・北関東以南

「つきはやか」は東北地域への普及が、「つきあやか」は中生を要望する北関東地域などの縞葉枯病多発地帯での普及が見込まれます。関東以西においてこれら2品種と晩生の「つきすずか」などと栽培を組み合わせることにより、移植や収穫作業の分散が可能です。



栽培上の注意点

- いもち防除は食用水稻品種と同様に徹底する。
- 十分な収量や良好なサイレージの品質を確保するため出穂30～40日以降に収穫する。

3. 公的育成優良品種パンフレット



クワトロ-TK5 早生 4倍体品種

登録品種
海外持出禁止(公示(農水省HP)参照) **2023年新発売**

☆雪腐病抵抗性を備え、東北地域で既存品種に比べ多収を示す、耐雪性品種。(根雪期間が80日程度まで多収となり、100日以上の地域には向きません。)
育成：農研機構 東北農業研究センター



きららワセ 早生～中生 低温伸長性に 優れた4倍体品種

登録品種
海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

各地の現地実規模栽培で多収と評価の高い品種です。
☆葉幅が広く、葉は大型で多収。2倍体にはない魅力。
☆初期生育旺盛で低温伸長性に優れ、播種遅れにも最適。
☆耐病性に優れ、9月下旬～10月上旬にエンバクと混播する事例も増えています。年内はエンバクを主体に収穫、土砂混入も少なく、翌春は2～3回の収穫。
☆既存の4倍体晩生種と草型が異なり、立性で耐倒伏性も改善された品種。
育成：山口県農林総合技術センター



ナガヒカリ 中生 4倍体品種

積雪地帯で長年の信頼で栽培されています。
☆多雪地域や北東北低標高地の寒冷地に向く。
畑地や水田で安定した収量確保が可能な唯一の品種。
☆連続積雪120日までの積雪地域に向く。
育成：農研機構(北陸農業研究センター)

イタリアンライグラスで良質な自給飼料の確保を!

～国や県などで育成した優良品種の紹介～

2025年
晩夏・秋播用

2025.5 作成



キュウシュウワン Kyushu 1

品種登録出願中(出願公表中)
海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

いもち病抵抗性を上手に活用してください。
☆南九州平坦地9月中旬播種で年内に出穂する。
極早生エンバクと混播で年内に乾物収量を高めて収穫ができる。
翌春1～2回の収穫に向く。
☆ソメイヨシノ開花頃の3月下旬に出穂する。
根量少なく早期水稲の作業もしやすい品種。
☆早播きトウモロコシの前作栽培に適する。
育成：農研機構九州沖縄農業研究センター

はやまき18 早生 いもち病抵抗性品種

登録品種
海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

既存の早生種では困難であった早播きが可能になります。
☆九州など温暖地で9月中旬～10月上旬に極早生エンバクと混播、年内はエンバク主体に収穫し、翌春「はやまき18」を2回収穫する。いもち病抵抗性を活用する省力栽培技術。
☆収量性と耐倒伏性は良好、他の早生優良品種並。
☆地域適応性は東北南部から九州・沖縄までの広域に適する。
育成：日本草地畜産種子協会 飼料作物研究所



【いもち病の発病は温暖化で拡大が懸念されます。】
いもち病の感染適温は25℃前後です。
関東以西の9月～10月上旬に発病します。
イタリアンライグラスの早播き、エンバクと混播の早播きではいもち病の発症リスクが高まります。抵抗性品種を利用しましょう。
注意：「ガルフ」(旧名：普通種)はいもち病に極弱の品種です。

熊本県合志市(畑地)、2016年9月16日播種、2016年11月4日撮影



他品種A

はやまき18

他品種B

他品種C

イタリアンライグラスの播種量 適期播種：2～4kg/10a 早播き・遅播き：3～5kg/10a
エンバクとの混播時の播種量 イタリアンライグラス：2～3kg/10a、エンバク：4～6kg/10a

ワセユタカ 初期生育良好で長年の信頼 早生

・関東以西～九州地域の通常栽培向け、早生品種。
・早春の低温期から生育良く、茎数多く、安定多収品種。
育成：山口県農林総合技術センター

アキアオバ3 長期利用が可能 晩生

登録品種 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)
・北関東～九州地域に適する。
・4倍体で越夏性に優れた晩生品種で、極長期利用が可能。
育成：茨城県畜産センター

ワセアオバ 降雪地帯を中心に長年の信頼 早生

・南東北～温暖地に向く
・耐寒・耐雪性やや良好なベストセラー。
・やや直立型で、葉幅がやや広く、安定した早生種。
育成：農研機構(北陸農業研究センター)

ニオウダチ 草丈やや低い、耐倒伏性 早生

・関東～四国、九州地域の通常栽培に向く早生品種。
・茎はやや太めで強く、耐倒伏性に優れる。
育成：農研機構 畜産研究部門

一般社団法人日本草地畜産種子協会 03-3251-6501
東京都千代田区神田紺屋町8 NCO神田紺屋町ビル

飼料作物研究所(栃木県) 0287-37-6755
九州試験地(熊本県) 096-348-3445

短期栽培作物 エンバクで良質な自給飼料の確保を！

2025年
晩夏・秋播用

～農研機構で育成した優良品種の紹介～



エンバク たちあかね 極早生

登録品種 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)
多数の現地実証栽培で評価されました。
 ・倒伏に強く、早播き年内収穫は多収。遅播きの翌春収穫も多収。
 ・イタリアンライグラスと混播の翌春収穫も多収。耐病性も強い。
 ・播種量：(通常播種時) 4～8 kg/10a
 (イタリアンライグラスとの混播時) イタリアンライグラス 2～3kg/10a
 + エンバク 4～6kg/10a

耐倒伏性で評価されています。

育成：農研機構 九州沖縄農業研究センター

○ エンバク「たちあかね」とイタリアンライグラスいもち病抵抗性極早生品種「Kyushu 1」、同早生品種「はやまき18」との作付体系例
 イタリアンライグラスとエンバクの混播で多収。9月播種のイタリアンライグラスはいもち病抵抗性品種を利用する。

○:播種、▼:収穫	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
混播「Kyushu 1」+「たちあかね」	○	-----	K+た	▼	-----	-----	K	▼	
混播「はやまき18」+「たちあかね」	○	-----	は+た	▼	-----	-----	は	▼	は▼
混播「はやまき18」+「たちあかね」			○	-----	-----	-----	は+た	▼	は▼



エンバク はいぶき 極早生

・たおれに強く多収。「たちあかね」より若干早生。
 ・東北南部から九州までの年内出穂期利用が可能。
 ・播種が9月下旬に遅れても九州では年内出穂が可能。
 ・播種量：(通常播種時) 4～8 kg/10a
 (イタリアンライグラスとの混播時) イタリアンライグラス 2～3kg/10a
 + エンバク 4～6kg/10a

育成：農研機構 九州沖縄農業研究センター

エンバク たちいぶき 極早生



・サツマイモネコブセンチュウの抑制効果が確認されている。サツマイモ栽培畑の緑肥に最適、飼料生産も良好な品種。
 ・倒伏に強く多収。冠サビ病抵抗性は極強。
 ・播種量 4～8 kg/10a (緑肥は多めに播種)
 育成：農研機構 九州沖縄農業研究センター



(センチュウ抑制効果)
 夏播き栽培の年内収穫後の圃場ではセンチュウ密度が低下し、翌春、その圃場にサツマイモを栽培すると写真のような差が見られました。

○ 記載の牧草種子は、農協・専門農協・種苗店にご注文下さい。当協会の牧草種子取り扱い会員はホクレン、雪印種苗(株)、カネコ種苗(株)、JA全農、全酪連、タキイ種苗(株)、宝種苗(株)、(株)宮崎緑肥、日本緑農(株)等です。

～公的機関等で育成された牧草地用優良品種～



The National Association of Racing
 地方競馬全国協会
 畜産振興事業

オーチャードグラス まきばゆうか 極早生 2025年新発売

品種登録出願中(出願公表中) 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

- ・東北から九州の7県の調査で既存品種より多収。
 - ・越夏性が向上。特に暖地で良好な越夏性。
 - ・寒冷地の低標高地から暖地の中標高地まで、広域で利用可能。
- 育成：農研機構 畜産研究部門



まきばゆうか

他品種A

熊本県における越夏後の草勢の品種間差異

オーチャードグラス きよは 中生 2025年新発売



品種登録出願中(出願公表中) 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

- ・東北から関東の6県の調査で既存品種より多収。
 - ・低温伸長性に優れるため、春・秋の草勢が良好。
 - ・葉腐れ病、黄さび病、うどんこ病、すじ葉枯病等、各種病害抵抗性に優れる。
 - ・寒冷地～温暖地の中標高地に向く。
- 育成：農研機構 畜産研究部門

ペレニアルライグラス 夏ごしペレ 晩生

登録品種 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

- ・年平均気温 9～12℃の寒冷地向き。
 - ・越夏性が向上。
 - ・初期生育、栄養価に優れ、放牧地の追播や採草利用も可能。
 - ・排水不良な転作田でも利用可能。
- 育成：農研機構 東北農業研究センター、山梨県



他品種A

夏ごしペレ

他品種B

2016年9月6日 栃木県那須塩原市

オーチャードグラス アキミドリII 極早生

- ・東北北部～九州の高冷地向き。
 - ・耐暑性に優れる。
 - ・放牧、採草利用いずれも可。
- 育成：農研機構 畜産研究部門

オーチャードグラス まきばたろう 中生

- 登録品種 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)
- ・東北北部～九州の高標高地向き。
 - ・永続性に優れる。
 - ・さび病等の病害に強い。
- 育成：農研機構 畜産研究部門

フェストロリウム 東北1号 登録品種 海外持出禁止 (公示(農水省HP)参照)

- ・東北～中部地方の高冷地に向く。
 - ・耐湿性に優れ、水田転作畑等に向く。
- 育成：農研機構 東北農業研究センター

ギニアグラス うーまく 登録品種 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

- ・南西諸島向き。
 - ・極晩生で極多収。
 - ・耐倒伏性で再生力良好、永続性に優れる。
- 育成：沖縄県

ギニアグラス ナツカゼ

- ・関東南部～九州南部向き。
 - ・青刈り、乾草、ロールバール利用可。
 - ・ネコブセンチュウ低減効果あり。緑肥利用可能。
- 育成：農研機構 九州沖縄農業研究センター

フェストロリウム 那系1号 登録品種 海外持出禁止 (公示(農水省HP)参照)

- ・東北地方から比較的冷涼な温暖地向き。
 - ・耐湿性に優れ、水田転作田等に向く。
 - ・採草利用。
- 育成：農研機構 畜産研究部門

公的機関で育成した牧草品種の紹介

都府県
向け
2025年7月

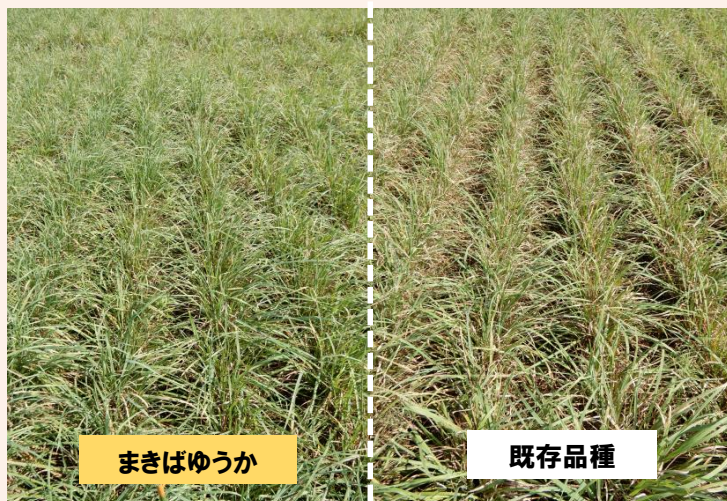
オーチャードグラス まきばゆうか

2025年
新発売

極早生 品種登録出願中（出願公表中）
海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

栽培適地 寒冷地の低標高地から暖地の中標高地
まで、広域で利用可能。

- 東北から九州の7県の調査で既存品種より多収。
（7県の3カ年平均で既存品種比106）
- 越夏性が向上。特に暖地で良好な越夏性を示す。
育成：農研機構 畜産研究部門



熊本県における越夏後の草勢の品種間差異



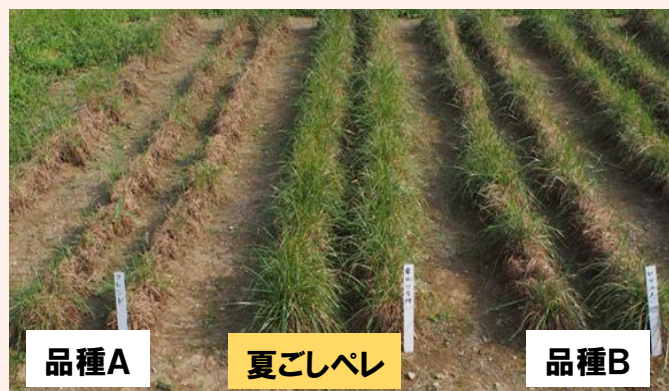
オーチャードグラス まきは 中生

2025年
新発売

品種登録出願中（出願公表中）
海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

栽培適地 寒冷地～温暖地の中標高地に向く。

- 東北、関東の6県の調査で既存品種より多収。
（6県の3カ年平均で既存品種比104）
- 低温伸長性に優れるため、春・秋の草勢が良好。
- 葉腐れ病、黄さび病、うどんこ病、すじ葉枯病等、各種病害抵抗性に優れる。
育成：農研機構 畜産研究部門



越夏後のようす（栃木県那須塩原市）

ペレニアルライグラス 夏ごしペレ 晩生

登録品種 海外持出禁止（公示（農水省HP）参照）

栽培適地 年平均気温 9～12℃の寒冷地に向く。

- 越夏性が向上。
- 初期生育、栄養価に優れ、放牧地の追播や採草利用も可能。
- 排水不良な転作田でも利用可能。

育成：農研機構 東北農業研究センター、山梨県

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 03-3251-6501
東京都千代田区神田紺屋町8 NCO神田紺屋町ビル

飼料作物研究所（那須塩原市）0287-37-6755
九州試験地（熊本県合志市）096-348-3445



チモシー クンプウ

栽培適地 東北北部、高冷地

- 極早生。直立型で茎は太い。
- 再生力も旺盛な採草利用。

育成：北見農業試験場

オーチャードグラス アキミドリⅡ

栽培適地 東北北部～九州の高冷地

- 極早生。耐暑性に優れる温暖地向き放牧・採草兼用品種。
- 特にうどんこ病に強い。

育成：農研機構 畜産研究部門



フェストロリウム 那系1号

登録品種 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

栽培適地 東北北部から比較的冷涼な温暖地まで

- 耐湿性に優れ水田転換畑などに向く。採草利用。
- 冠さび病抵抗性に優れる。

育成：農研機構 畜産研究部門

オーチャードグラス まきばたろう

登録品種 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)

栽培適地 東北北部(高標高地除く)～九州(標高700m程度以上)

- 中生。永続性に優れ利用4年目でも収量の低下が少ない。
- さび病、雲形病、うどんこ病などの病害抵抗性に優れる。

育成：農研機構 畜産研究部門

トールフェスク ウシブエ

登録品種 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)



栽培適地 東東南部～九州まで栽培可能

- 中生。寒地型牧草の中では永続性と越冬性に優れ、深根で栽培地の土壌環境の適応性に優れる。
- 放牧利用や採草利用が可能で、出穂後は嗜好性や消化率が低下しやすい。

育成：農研機構 九州沖縄農業研究センター

アルファルファ ネオタチワカバ



栽培適地 東東南部～九州

- 耐湿性に優れ、高温多雨条件に適応する。
- 菌核病、アブラムシへの抵抗性強。

育成：愛知県農業試験場

ギニアグラス うーまく

登録品種 海外持出禁止(公示(農水省HP)参照)



種子増殖中

栽培適地 南西諸島

- 多年利用の採草用。
- 水はけの良い土地で栽培。多収で倒伏にも強い。

育成：沖縄県畜産研究センター

ギニアグラス ナツカゼ



栽培適地 関東南部～九州南部

- 青刈り、乾草、DLP利用可。
- 初刈り後減収効果有。緑肥利用可。

育成：

農研機構 九州沖縄農業研究センター

草地更新 の目安

- ①草地造成後年数が経過し土壌も硬くなり収量も低下
- ②裸地が多くなり雑草の侵入や夏枯れも目立つ
- ③雑草が繁茂し造成時の草種が少ない

①簡易更新の検討が必要です

②簡易更新の計画表を作成しましょう

③簡易更新や完全更新が必要です

◆ 混播例：数値の単位は全て kg / 10a

○放牧草地 高冷地		○採草地 東北地域の高冷地		○採草地 一般地域の高冷地	
オーチャードグラス	2.0	チモシー	2.0	オーチャードグラス	2.5
ペレニアルライグラス	0.5	オーチャードグラス	0.5	ペレニアルライグラス	0.5
トールフェスク	0.5	シロクローバ	0.2	(またはトールフェスク)	
シロクローバ	0.2	(またはアカクローバ)		シロクローバ	0.2
				(またはアカクローバ)	



The National Association of Racing
地方競馬全国協会
畜産振興事業

4. 令和8年播種用飼料用イネ種子の供給について

販売する品目

- ① 令和7年産種子
- ② 令和6年に生産した在庫種子

いずれも、発芽検査に合格したロットのみを販売します。

ラインナップに多収品種の「北陸193号」が加わりました。

販売スケジュール

- ① 予約販売 令和7年7月1日～11月28日

生産予定数量までを先着順で受け付けます。
予約販売期間内で追加・変更が可能です。
12月上旬に予約確認書を送付します。

- ② 当用販売 令和8年1月5日～1月23日

生産数量が①の予約数量を上回った場合に、按分形式で受け付けます。申込数量が販売可能数量を超えた場合は申込数量で按分し、2月上旬に結果を報告します。

- ③ 追加販売 令和8年2月12日～3月10日

①と②の販売後に種子在庫があれば、先着順にて受け付けます。

生産した種子は発芽検査を実施して合格したロットのみを販売します。ご注文を受付し予約確認書を送付した後に、発芽検査の不合格等により、供給できなくなる事もございますので、予めご了承ください。

ホームページをご覧くださいと詳細が確認できます。

ご不明な点がございましたら、当協会までお問合せください。

TEL : 03-3251-6501 (担当 : 山淵)

飼料用稲に関するリンク集

飼料用イネの栽培と品種特性（飼料用稲種子パンフレット）

https://souchi.lin.gr.jp/seed/pdf/2025fy_forage-for-rice_pamphlet.pdf



稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル第7版（令和2年3月）

https://souchi.lin.gr.jp/skill/pdf/manual_vol7.pdf



発酵粗飼料用稲（WCS用稲）に使用できる農薬について
（農林水産省農薬対策室ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/wcsyoine.html>



稲ホールクロップサイレージ利用推進シンポジウム
（令和7年7月2日，動画）

https://souchi.lin.gr.jp/event/1_2.php



極短穂茎葉型品種を活用したイネホールクロップサイレージ生産体系
（農研機構 標準作業手順書（SOP））

<https://sop.naro.go.jp/document/detail/6>



5. 飼料作物・飼料用稲 現地実証展示ほの設置について

飼料作物優良品種について、生産者及び普及関係機関のご協力をいただき現地実証展示ほを設置し、その品種の特性、有効な栽培法等について確認・評価をいただいております。

展示ほでの栽培実績については、以下のサイトからご覧いただけます。地域における栽培事例を参照いただき、優良品種の実際の栽培にお役立て願います。

掲載サイト <https://souchi.lin.gr.jp/tenjiho/>



6. 第13回全国自給飼料生産コンクール公募のご案内

一般社団法人日本草地畜産種子協会

日本草地畜産種子協会では、畜産物生産のために自給飼料を生産・利用している経営体のコンクール出品を全国から募集しています。積極的に自給飼料の生産・利用を推進していれば、畜産・耕種、個別経営・法人経営を問いません。

地域の畜産をコンクール褒賞で応援したいとお考えの皆さん、郷土の優良経営体をご推薦下さい。本年の出品参加予定者を含めて今後も推薦を検討したい優良経営体がありましたら、是非とも優良事例として経営の概要をお知らせください。

全国自給飼料生産コンクール申込手順（要領抜粋）

1 参加資格

原則として1 ha以上の面積で飼料作物の生産又は利用をしている畜産農家及び耕種農家並びに飼料生産受託組織を含む団体又は法人とする。

（飼料用米を生産する耕種経営、飼料用米を利用する畜産経営もOKです。）

2 出品財

本コンクールの出品財は、永年牧草の部と飼料作物の部からなる飼料生産部門及び放牧部門の2部門における技術・ほ場とし、そのほ場面積は、多年生飼料作物（永年牧草）が生産・利用された場合にあっては1区画50a、単年生飼料作物が生産・利用された場合にあっては1区画10a以上とする。

3 出品申込み手続き

（1）参加者の出品申し込みは、1人1点以内とする。

（2）参加者は、出品申込書に必要書類を添付して、都道府県畜産主務課又は全国及び都道府県の区域を地区とする粗飼料の生産振興等に関する団体（以下「都道府県等」という。）に申込みものとする。（概要表だけでも申請はOKです。申請後に適宜お問い合わせをして、記載内容の充実を図ってまいります。全ての項目の記載が必須ではありません。様式は当協会HPからダウンロード可能です。）

（3）都道府県等は、優れた出品財を選定し、これを草地協会に推薦する。

（推薦団体については畜産関係団体、農協、市町村等もOKです。）

4 表彰

表彰は、原則として飼料生産部門の永年牧草の部と飼料作物の部の2部及び放牧部門の1部の計3部から選定することとする。

最優秀賞：農林水産大臣賞 優秀賞：農林水産省畜産局長賞

その他：日本草地畜産種子協会会長賞

5 賞品

賞状、副賞を授与いたします。

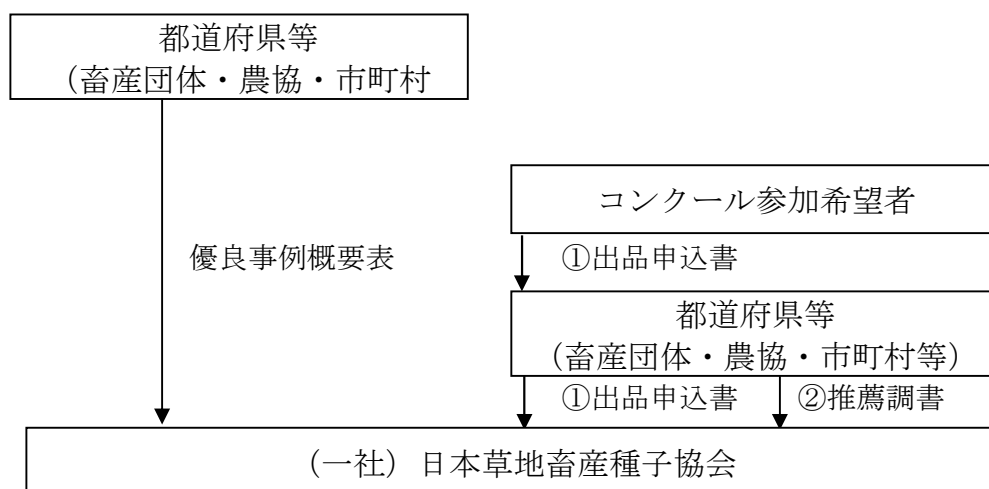
コンクール応募の詳細については、当協会HPの「協会行事」から「全国自給飼料生産コンクール」を開きますと、ご覧いただけます。

担当者：一般社団法人日本草地畜産種子協会 草地畜産部 橋本

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町8 NCO 神田紺屋町ビル4階

TEL：03(3251)6501(代表) FAX：03(3251)6507

E-mail：r-hashimoto131@souti-fsa.or.jp



自給飼料生産コンクールに係る出品財と飼料作物の種類及び参加資格者

出品財		飼料作物の種類	参加資格者
部門	部		
飼料生産部門	①永年牧草の部	永年性牧草の草地及びそのサイレージ、乾草等	畜産農家等の畜産経営体、コントラクター、公共牧場等の永年牧草地の管理（作業受託を含む）・利用を行うもの
	②飼料作物の部 (単年生の飼料作物)	青刈りトウモロコシの生産ほ場及びそのサイレージ等	
		青刈りソルガムの生産ほ場及びそのサイレージ等	
		イタリアンライグラス等の単年生牧草・飼料作物の生産ほ場及びそのサイレージ、乾草等	
	③放牧部門	飼料稲の生産ほ場及び稲 WCS 等	耕種農家等の耕種経営体、畜産農家等の畜産経営体、コントラクターなどの飼料稲及び飼料用米の栽培管理・収穫調製（作業受託を含む）、並びに利用を行うもの
		飼料稲の生産ほ場及び飼料用米	
	③放牧部門	永年性の牧草地及び単年生飼料作物作付地への放牧	畜産農家等の畜産経営体、公共牧場等永年牧草地の管理及びその運営を行うもの

スケジュール：令和8年2月：コンクール公募開始、令和8年6月15日公募締切

令和8年7月～12月：審査会及び現地調査

令和9年3月：表彰式（予定）

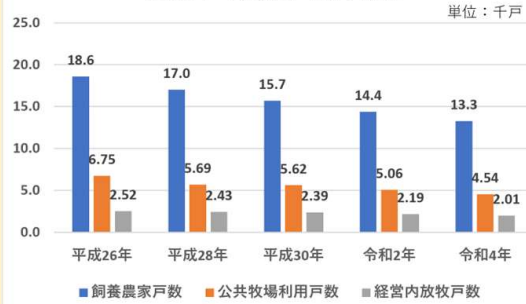
（最優秀賞については、令和9年度の農林水産祭に参加します）

7. 放牧畜産普及拡大高度化推進

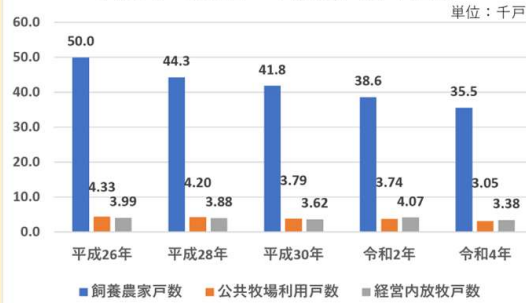
放牧の現状

家畜飼養戸数が減少する中、経営内放牧戸数の割合は増加傾向

乳用牛の放牧戸数の推移



肉用牛（繁殖）の放牧戸数の推移



参考：農林水産省HP

放牧普及上の課題

- 畜産農家を指導する者の技術不足
- 畜産農家の放牧への取組意欲の不足
- 消費者への放牧畜産物の周知不足

放牧は、土-草-家畜が結び付いた資源循環型畜産



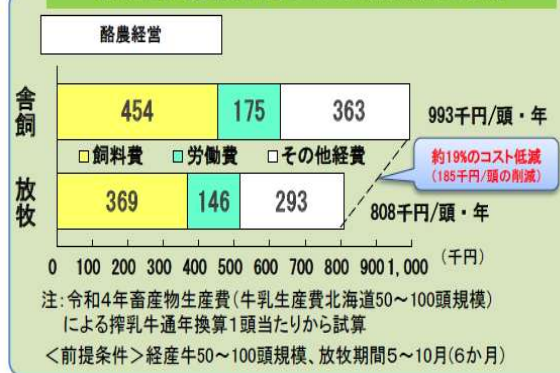
国連が目指すSDGsに即した農法であり、みどりの食料システム戦略や持続的な畜産物生産の在り方検討会の将来像を具現化する農法

効果



- 省力的で、農業者の労働時間が減少
- 低コストで畜産物生産
- 化石燃料の使用量の低減による環境負荷の低減
- 家畜の健康やアニマルウェルフェアの向上
- 放牧畜産物は、β-カロテンなどの機能性成分が豊富

放牧による飼養管理のコスト削減効果の試算



注：令和4年畜産物生産費(牛乳生産費北海道50~100頭規模)による搾乳牛通年換算1頭当たりから試算
 <前提条件> 経産牛50~100頭規模、放牧期間5~10月(6か月)

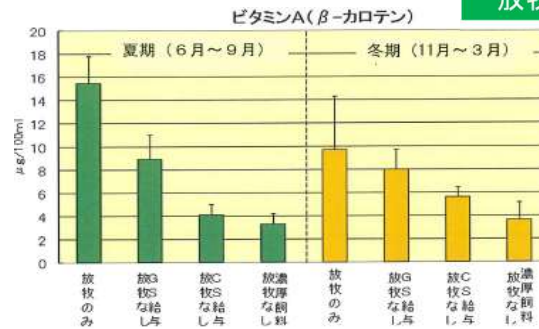
放牧による飼養管理のコスト削減効果の試算



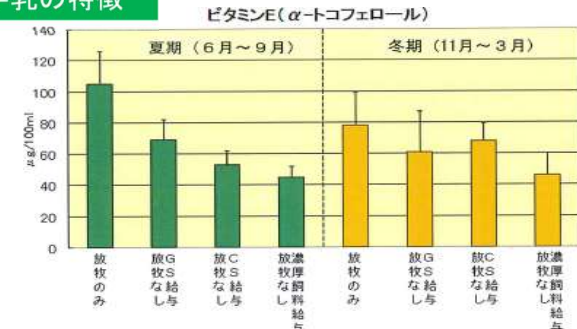
注：令和4年畜産物生産費(子牛生産費2~5頭未満規模)による子牛1頭当たりの生産費から試算
 <前提条件> 繁殖雌牛2~5頭未満規模、放牧期間：5月~10月(6か月)

参考：農林水産省HP

放牧牛乳の特徴



(注) GS：グラスサイレージ
CS：コーンサイレージ



(参考) ビタミンEは抗酸化作用、免疫調整作用、ビタミンA抗酸化作用、細胞の老化防止作用を有する

放牧畜産普及拡大高度化推進の枠組み（R7～R9）

一般社団法人日本草地畜産種子協会

放牧畜産普及拡大高度化推進

- ・放牧等推進検討委員会
- ・事業実施方針の検討等

放牧実態調査等の実施費

- ・放牧実態調査
- ・放牧等推進課題調査検討

人材育成と指導体制の構築費

- ・地域における人材育成
- ・効率的放牧現地指導
- ・放牧畜産基準認証推進
- ・放牧等関係者交流促進
- ・全国放牧畜産ネットワーク
- ・新規就農者研修支援

生産・消費一体の放牧推進費

- ・理解醸成のための情報提供
- ・イベント等出展
- ・放牧実践牧場への支援
- ・ホームページ作成
- ・消費者等交流会等の開催

8. 放牧畜産基準認証制度のご紹介



放牧は、土-草-家畜という資源循環型畜産であり、次のような効果があります。

- 省力的で、労働時間が減少し、ゆとりが生まれます。
- 地域の土地や草資源(耕作放棄地など)を有効に利用することができます。
- 低コストに畜産物を生産できます。
- 機械利用が減ることで化石燃料の使用量が低減し、環境負荷の軽減につながります。
- 家畜の健康保持やアニマルウェルフェアの観点から優れています。
- 放牧で生産された畜産物には、β-カロテンなどの機能性成分が多く含まれます。

放牧には上記の効果があり、国連が目指すSDGs（持続的開発目標）に即した農業と言えます。最近では、放牧関連の機器や技術が進展し、新規就農にも適していることから、放牧が再評価されています。このような放牧を日本国内に広め、放牧で生産される良質な畜産物を消費者に届けるために、「放牧畜産基準認証」制度が創設されました。

どんな制度？

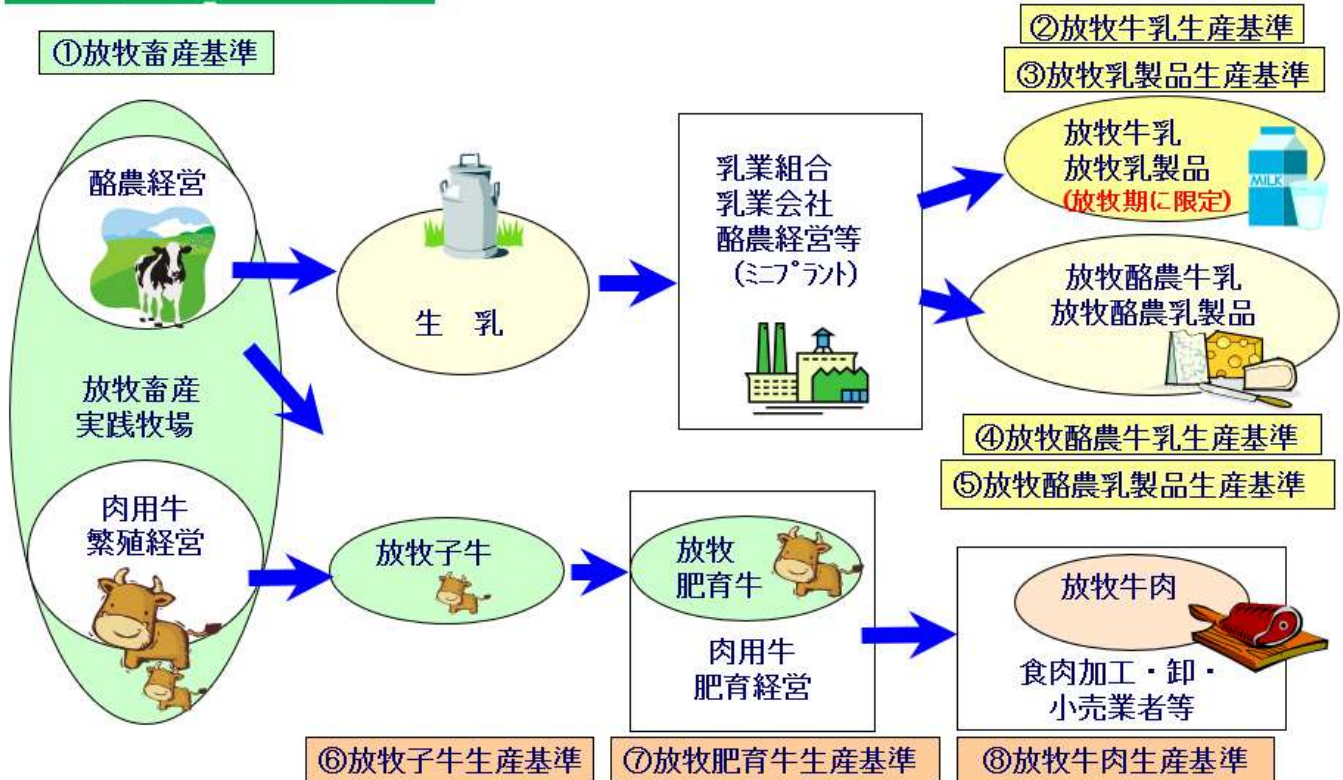
- 一般社団法人 日本草地畜産種子協会が創設したもので、海外には類似の制度がみられない日本独自の認証制度です。
 - ・平成21年に創設され、現在100団体以上が認証を受けています。
 - ・認証基準は、放牧を実践する牧場で機能性成分が畜産物に移行するのに十分な放牧草を採食できるように1頭当たりの放牧地面積等を定めています。
 - ・また、牛乳、牛肉などの生産物の流通・加工・販売業者向けに、認証マークを添付してアピールできるように、7つの生産基準が設けられています。

放牧畜産基準認証制度の概要

認証制度とは

生産者側からだけでなく消費者側に放牧畜産物がもつ機能性成分やアニマルウェルフェア等について訴求し、放牧を推進するため「放牧畜産基準」を創設し、その認証制度を平成21年4月にスタートしました。

生産物の流れと基準認



どうやって取得するの？

認証取得を希望される牧場や乳業会社等は、一般社団法人日本草地畜産種子協会に申請します。申請すると審査員が牧場等に立ち入り、聞き取りや現地確認を行い、協会内の審査委員会で判定します。

認証マークの使用を希望される場合は、マーク使用許諾を申請します。申請書様式は一般社団法人日本草地畜産種子協会のHPにあります。

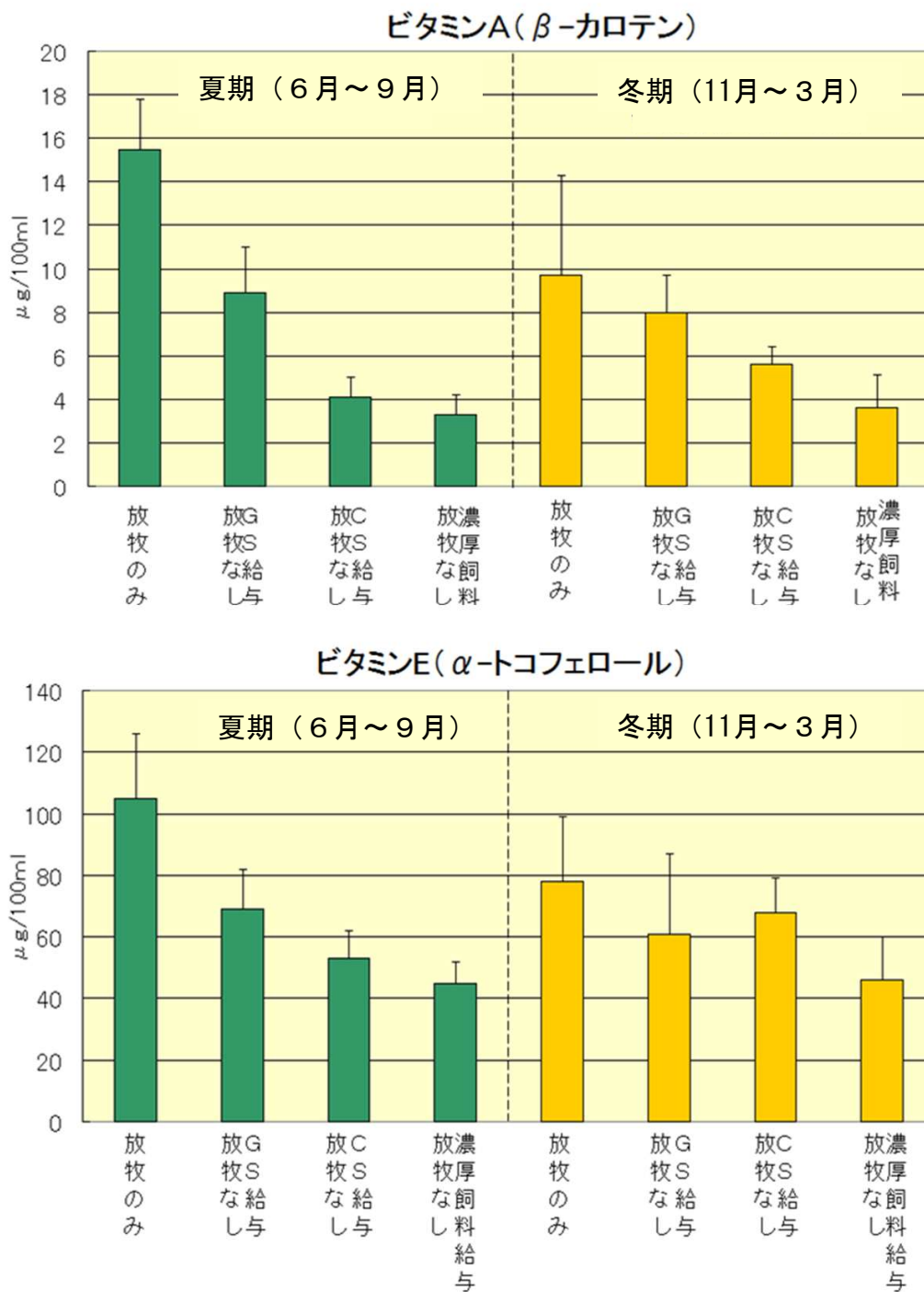
認証マークとは？

認証マークは、右のとおりです。



消費者には何のメリットが？

<放牧牛乳の機能性成分>



(注)
ビタミンA (β-カロテン) : 脂溶性ビタミンで、抗酸化作用、免疫調整作用を有します。
ビタミンE (α-トコフェロール) : 脂溶性ビタミンで、強い抗酸化作用を有し細胞の老化防止作用を有します。

G S 給与 : グラスサイレージを多給、**C S 給与** : コーンサイレージを多給

放牧牛肉では**カルニチン** (脂肪の体内燃焼に不可欠で、スタミナ源としての効果が期待されています)、**クレアチン** (筋肉エネルギー代謝に関わり、筋力増強の効果が有ります)、**カルノシン** (抗酸化機能を有し、運動時の筋肉中乳酸蓄積を軽減します) 等の機能性成分が増加します。

具体的な放牧に関する基準は？

植生	成牛換算1頭当たり 放牧地面積	放牧期間	1日の放牧時間
牧草地	25a以上（ただし宮古島以西の先島諸島地域では15a以上）	自然条件から見て放牧可能な全期間	昼夜放牧又は夜間あるいは昼間放牧
	15a以上	自然条件から見て放牧可能な全期間	夜間放牧又は昼間放牧に限る
シバ型草地※	45a以上	自然条件から見て放牧可能な全期間	昼夜放牧又は夜間あるいは昼間放牧
野草地	90a以上	自然条件から見て放牧可能な全期間	昼夜放牧又は夜間あるいは昼間放牧
	40a以上	自然条件から見て放牧可能な期間のうち100日以上とし、野草が衰退してきた場合は、牧草地への転換を行うことを条件とする。	昼夜放牧又は夜間あるいは昼間放牧

家畜1頭当たりの放牧地面積、放牧期間及び1日の放牧時間は、**放牧によって牛が十分な粗飼料摂取を可能とし、かつ、草資源の再生力を持続的に維持することが可能**なものとする。

※（注）当該基準におけるシバ型草地とは、いわゆるノシバ（*Zoysia japonica*）が優占した草地である。

認証取得のメリットは？

●農家のメリット

- ・生産コストの低減による農業所得の向上、6次産業化への取り組みの促進につながる。認証により、消費者からの信頼度が高まる。生産者自らの飼養管理技術や経営管理の見直しにもつながり、生産者責任の明確化で他との差別化、経営の改善に役立つ。

●販売者のメリット

- ・放牧畜産物に認証マークを付けることによって、消費者から「**本物の放牧畜産物**」として**認識**され他の商品との差別化ができる。

●消費者のメリット

- ・**機能性成分に富んだ**本物の放牧畜産物の購入が可能になるとともに、**地球温暖化防止、アニマルウェルフェア**、地域振興に貢献できる。また、生産者との交流も期待できる。

●地域・全体のメリット

- ・放牧技術の情報交換や連携が進み、**地域における放牧畜産の振興**を図ることができる。
- ・地域ぐるみの認証取得によって、認証付き放牧畜産物の生産量が増大し、**地域ブランド化**に役立つ。学校給食、病院食、介護施設に使用することによって**住民福祉の一助**にもなる。
- ・食料・環境問題に関心が高い消費者に対して、放牧畜産物を生産している地域、あるいは畜産全体の**イメージアップ**につながる。

【放牧普及サイト（協会 HP）】

<https://souchi.lin.gr.jp/houboku-guide/lp/houboku/>



酪農経営



肉用牛経営



消費者の皆さま



学生の皆さま



放牧認証制度



全体目次

酪農経営

I. 舎飼いから放牧に転換

- 1. 放牧で経営が成り立つの？
- 放牧事例
- 放牧転換事例
- 2. どうやったら放牧できるの

II. 新規就農者

- 1. 放牧の魅力とは
- 2. 放牧で経営が成り立つの
- 3. どうやったら放牧できるの？
- 4. どこに相談したらいいの



肉用牛経営

I. 舎飼いから放牧に転換

- 1. 放牧で経営が成り立つの？
- 放牧実践事例
- 2. どうやれば放牧ができるの？
- 3. 放牧を始める手順
- 4. 放牧に必要な設備
- 5. 放牧地や放牧家畜の管理
- 6. 公共牧場の利用
- 7. 放牧畜産に関する相談先

II. 新規就農者

- 1. 放牧の魅力とは
- 2. 放牧で経営が成り立つの？
- 3. どうやれば放牧ができるの？
- 4. 放牧畜産に関する相談先

消費者の皆さま

- 1. 放牧の良さ
- 2. 日本における放牧の現状
- 3. 公共牧場ってなに？
- 4. 酪農を体験するには
- 5. 放牧畜産物はどこで買えるの？
- 6. 基準認証工房の紹介

学生の皆さま

- 1. 放牧のよさ
- 2. アニマルウェルフェア
- 3. 放牧畜産物の特徴
- 4. 日本における放牧の現状
- 5. 公共牧場ってなに？
- 6. さまざまな放牧技術
- 7. 放牧に関わる仕事
- 8. もっと放牧を知るために

9. 令和6年度事業主要成果品一覧

事業名	令和6年度に作成した成果品名	種類	入手方法
飼料自給率向上緊急対策事業(農林水産省補助事業令和5年度補助事業)	飼料作物等高能力新品種選定調査成績概要集	冊子	協会へお問合せください
飼料作物優良品種普及活用事業	技術情報 「特集:草地改良が有する温室効果ガス削減効果と高位生産草地の維持に関する植生管理技術」	冊子	協会HP:技術情報 - 情報誌「グラス&シード」
飼料作物優良品種普及活用事業	飼料作物優良品種の紹介 (府県版秋播用、府県草地用品種)	パンフレット	協会へお問合せください
飼料用稲専用品種普及事業	令和7年播種用飼料用イネの栽培と品種特性	パンフレット	協会HP:飼料作物品種・種子情報 - 飼料用稲パンフレット
飼料用大豆・高栄養TMR生産調製実証事業(JRA)	リビングマルチを用いた飼料用ダイズの栽培技術	パンフレット	協会HP:技術情報 - マニュアル・パンフレット他
飼料作物優良品種普及活用事業	新聞広告「ペレニアルライグラス品種 夏ごしペレ」および「極短穂型WCS用稲新品種 つきはやか・つきあやか」	記事	令和6年9月24日 日本農業新聞
飼料作物優良品種普及活用事業	新聞広告「ペレニアルライグラス品種 夏ごしペレ」および「極短穂型WCS用稲新品種 つきはやか・つきあやか」	記事	令和7年3月21日 日本農業新聞
飼料用稲専用品種普及事業	マイナビ農業ニュース(「飼料用イネ」関連記事)	記事	協会HP:協会からのお知らせ
飼料作物優良品種普及活用事業	全国飼料増産シンポジウム資料	紙媒体	協会へお問合せください
飼料作物優良品種普及活用事業	自給飼料生産優良事例集	電子媒体	協会HP:技術情報 - 自給飼料生産優良事例集
飼料自給率向上総合緊急対策事業(農林水産省補助事業令和4年度補助事業)	草地難防除雑草駆除技術実証事業優良事例集	電子媒体	協会HP:技術情報 - 技術資料関係報告書
畜産振興事業(NAR) ・放牧を中心とした持続的畜産普及拡大推進	放牧畜産実践牧場等紹介ビデオ ① 佐藤牧場(北海道足寄町) ② 丸藤牧場(北海道中川町) ③ 譜久村牧場(沖縄県石垣市) ④ 菊池牧場(岩手県奥州市) ⑤ 大野畜産公社模範牧場(岩手県田野畑村)	動画媒体	協会HP:放牧畜産って何? - 放牧の仲間たち -